

諏訪の景気動向

平成30年5月

(平成30年4月末 D・I調査)

平成30年5月31日

岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫

諏訪地方の景気動向（平成 30 年 4 月末調査）

「平成 30 年 4 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

【概況】 諏訪地方 182 社のご協力を得て行った平成 30 年 4 月末の「景気動向調査(DI調査)」は、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは 12.6 となった。前回調査時(平成 30 年 1 月末、以下同)の△9.2 より 21.8 ポイント改善した。製造業の業況判断DIは 10.3 で、前回の△8.7 から改善し、非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIも 17.8 で、前回の△10.5 から改善した。一方、「3ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が 3.2 (前回 17.3)と悪化したが、観光業がトップシーズンに向かう非製造業は 25.0(前回 12.3)と好転予想が多く、回答全社では 9.9(前回 15.8)となった。

内閣府発表の 1～3 月期の国内総生産(GDP)速報値は、年 0.6%減となり、9 四半期(2 年 3 ヶ月)ぶりのマイナス成長となった。野菜などの必需品の値上がりで個人消費が停滞したことなどが要因とされるが、輸出や輸入は好調で景気回復基調は継続している。諏訪地方でも前回は総体的に悪化傾向を示したものの、今回は回復傾向が見られる。ただ、米国と中国の通商摩擦やエネルギー価格の上昇、スマートフォン景気の減速など諏訪地方の企業に影響をおよぼすリスク要因もあり、先行きを慎重に見る企業もある。原材料や仕入れ価格の高騰、人手不足、人件費の上昇などの課題も続いている。

製造業の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは、前回の△2.4から 14.3 へ改善した。前回の 3ヶ月後の予想とほぼ同様になっている。外注発注量DIも前回の△4.7から 3.2 へ改善した。「前年同期」との比較では、業況判断、売上、受注とも好転企業がやや減少したが、悪化企業も減り、総体的には高水準で推移している。「3ヶ月後」の予想DIは、業況判断が前回の 17.3 から 3.2、受注状況は 14.2 から△1.6、収益性は 2.3 から△4.0 と、悪化予想が多い。原材料等のコストは「3ヶ月前」に比べて 38.9%の企業が上昇とし、前回よりやや低下したが、資材の高騰や入手に悩む企業が多い。従業員数評価は「3ヶ月前」に比べ 38.9%が「不足」としている。新卒や派遣、外国人労働者の採用などで「適正」となった企業が徐々に増えているが、まだ人手不足は続いている。

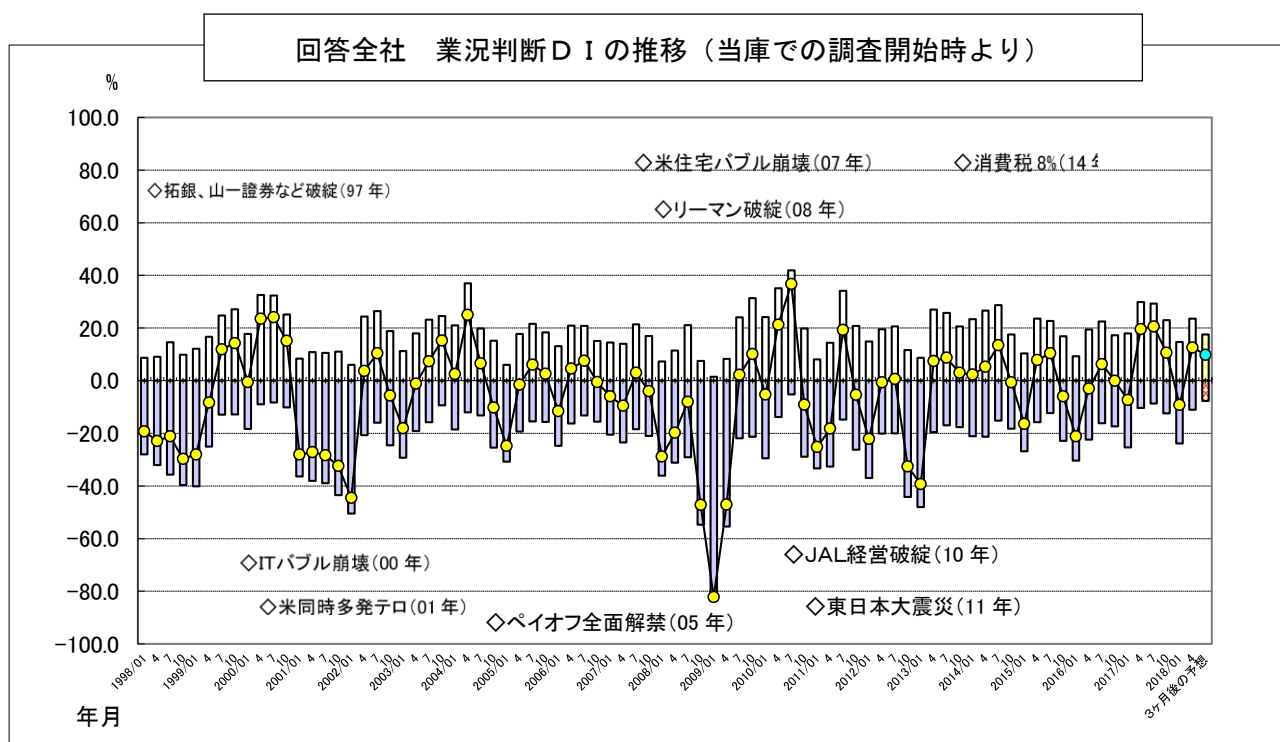
商業は、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、前回の△3.7 から 19.3 へ改善した。来店客数DIは前回の 0.0 から 11.5 へ改善し、客単価DIは前回の△7.4 から 30.8 へ大幅改善し、収益性DIも前回の△14.8 から 26.9 へ改善した。1 人当たり労働時間 DI は、前回の△7.4 から 19.3 へ増加している。仕入れコストが上昇した企業は前回の 29.6%から 26.9%へやや低下したが、飲食店などでは仕入れに苦慮する店舗もある。また、ガソリンなどの身近な生活必需品の高止まりが、消費者の家計を圧迫し、消費意欲に盛り上がりを欠く状況は続いている。「3ヶ月後」の予想は売上DIが 7.7(前回 14.8)で低下したが、来客数DIは 11.6(前回 7.4)と改善し、業況判断DIは 11.5 で前回の 11.1 とほぼ同様に推移している。

観光・サービス業は、季節要因があり、「3ヶ月前」と比較した業況判断 DI は 42.9 で、前回の△28.5 から大幅改善している。4 月は初イベントの「ラリーチャレンジ in 八ヶ岳茅野」が行われ、県内外から多くの来訪があった。ただ、「前年同期」と比べると、好転企業の割合は変わらないが、悪化した企業が多く、同 DI は△14.3(前回 14.3)と低下した。宿泊客数 DI も「3ヶ月前」との比較では 35.7(前回△21.4)と改善しているが、「前年同月比」で

は△14.3(前回 21.5)と悪化している。団体客の減少や施設改修工事、気温上昇によるスキー場の早期閉場などが要因とみられる。本格的な観光シーズンとなる「3ヶ月後」の業況判断予想DIは 57.1(同 35.7)、客単価DIは 50.0(同 21.4)、宿泊客数 DI は 50.0(同 42.8)、売上 DI は 71.4(同 35.7)で好転予想が多い。

建設業は、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは△6.2 で、前回調査と同様だった。受注状況DIは前回の△6.3 から 6.2 へ改善した。「3ヶ月後」の業況予想DIは 18.8(前回△6.2)と改善予想が多い。受注予想DI も前回の 12.5 から 18.8 へ改善している。従業員数の評価は「3ヶ月前」に比べて 37.5%が「不足」とし、前回の 31.3%よりやや悪化した。諏訪地方の平成 30 年 3 月の新設住宅着工戸数は 152 戸で、前年同月比 60 戸増加(65.2%)した。平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月の累計着工戸数は 1,099 戸で、前年同期比 14 戸減少(△1.3%)した。平成 30 年 4 月に地元業者が受注した国県関係の公共工事の累計は 4 件 306 百万円で、0 件だった前年同月より増加した。4 月の市町村からの受注工事は合計 46 件 510 百万円で、前年同月比件数で 8 件増加し、契約金額は 84 百万円増加した。

雇用状況は、平成 30 年 3 月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を 0.08 ポイント上回り、前月を 0.03 ポイント下回る 1.68 倍となった。1 倍台は 48 ヶ月連続。長野県は 1.70 倍、全国は 1.59 倍だった。諏訪地方は、新規求人数(全数)が 1,935 人で前年同月比 13 人減少(△0.7%)した。新規求職者数は 810 人で前年同月比 68 人減少(△7.7%)している。産業別の前年同月比の新規求人数は、医療・福祉業で 53.9%、製造業で 4.1%増加し、飲食店・宿泊業が 22.9%減少した。求人の要因別は、「継続する人員不足」「業務量増大」「欠員補充」「創業・新分野展開」の順となっている。1 件 10 人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は 19 人で、前年同月より 76 人減少し、前月より 6 人減少した。



業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(182社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」企業が23.6%、「横這」企業が65.4%、「悪化」企業が11.0%で12.6となった。前回調査時点で3ヶ月後の予想DIは15.8で、予想よりやや悪化したものの、好転企業が増加し、悪化企業が減少した。製造業は、「好転」企業が前回の12.6%から19.8%へ増加し、「悪化」企業が21.3%から9.5%へ減少したため、好転企業が上回るプラス水準となった。非製造業は、「好転」企業が前回の19.3%から32.1%へ増加し、「悪化」企業が29.8%から14.3%へ減少した。観光・サービス業の業況判断DIは42.9で前回の△28.5から71.4ポイント改善した。商業は、前回の△3.7から19.3へ23.0ポイント改善した。建設業は△6.2で前回と同じ数値で推移した。

産業別業況表

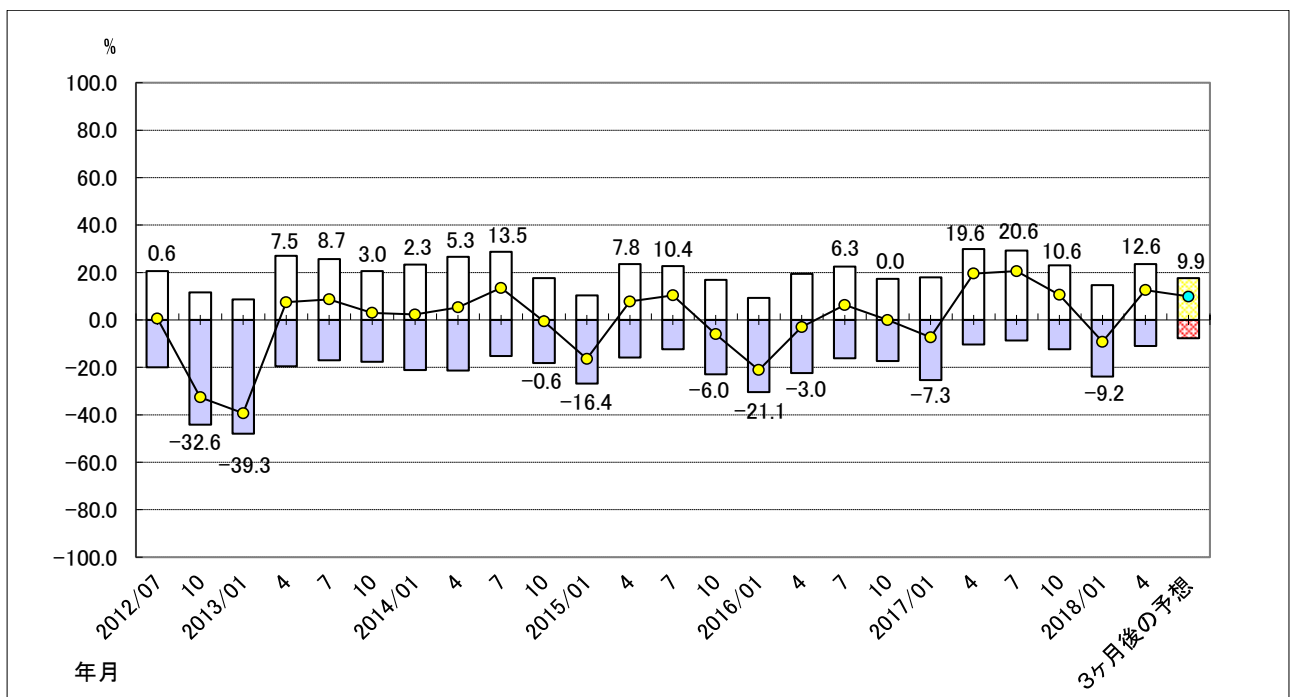
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	182	23.6	65.4	11.0	12.6	182	34.6	50.0	15.4	19.2	182	17.6	74.7	7.7	9.9
製造業	126	19.8	70.6	9.5	10.3	126	41.3	45.2	13.5	27.8	126	12.7	77.8	9.5	3.2
非製造業	56	32.1	53.6	14.3	17.8	56	19.6	60.7	19.6	0.0	56	28.6	67.9	3.6	25.0
商業	26	30.8	57.7	11.5	19.3	26	23.1	57.7	19.2	3.9	26	19.2	73.1	7.7	11.5
建設業	16	6.3	81.3	12.5	-6.2	16	12.5	81.3	6.3	6.2	16	18.8	81.3	0.0	18.8
観光・サービス	14	64.3	14.3	21.4	42.9	14	21.4	42.9	35.7	-14.3	14	57.1	42.9	0.0	57.1

自社業況判断DIの推移

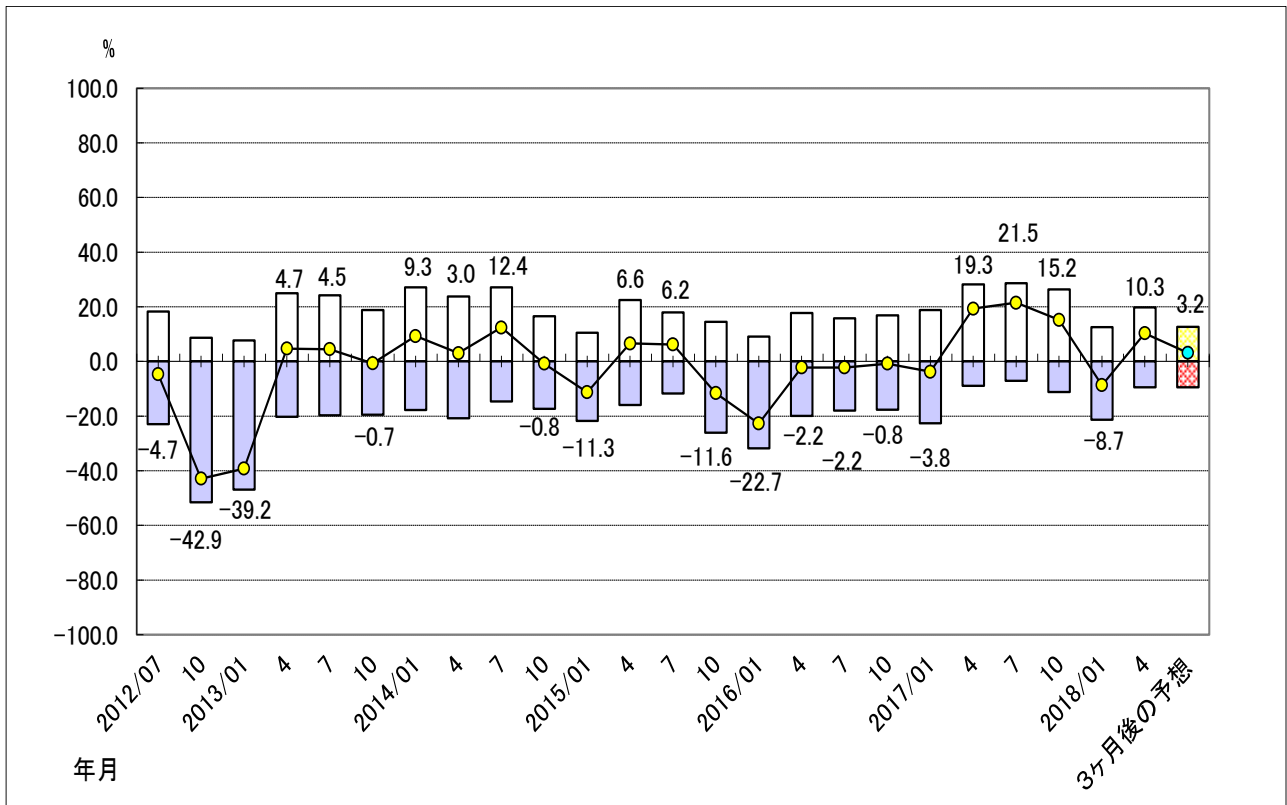
● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



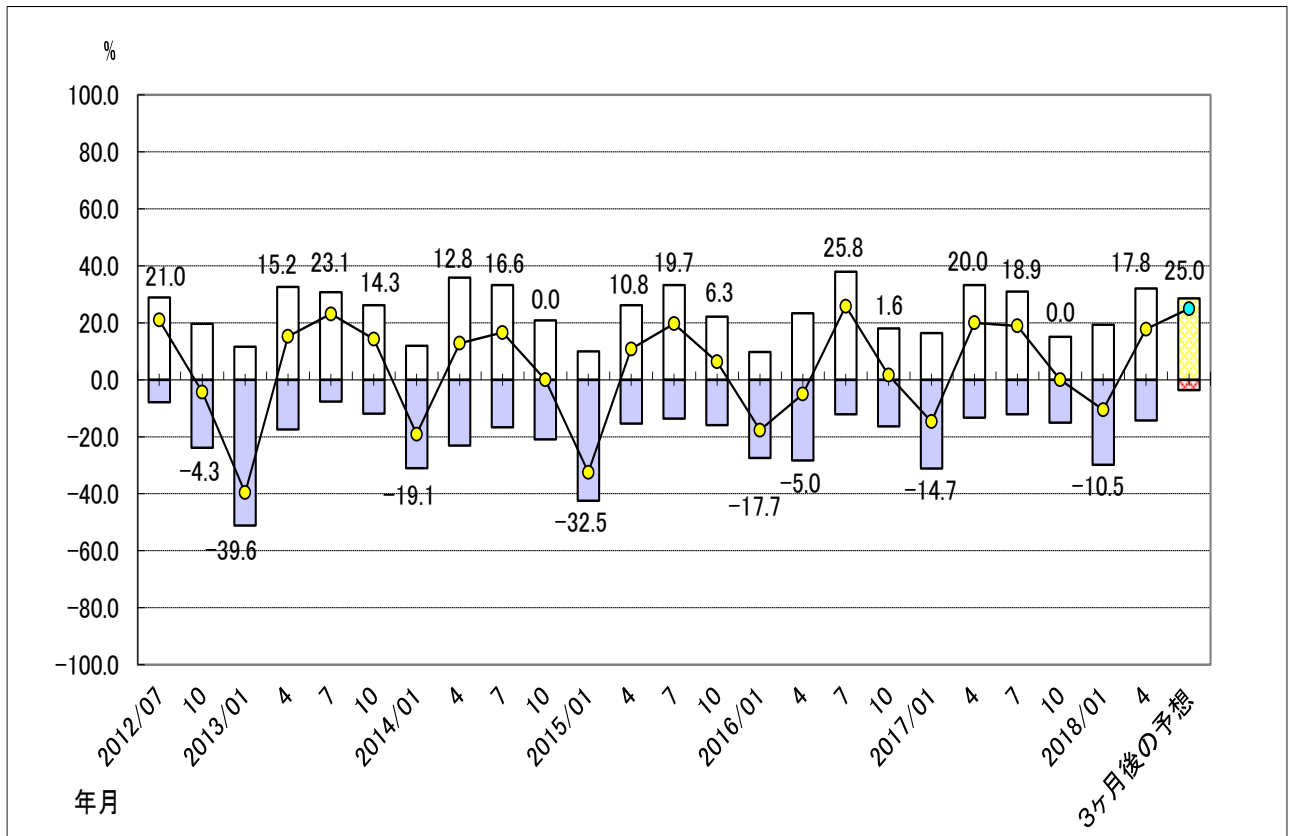
●製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産業別景気動向

1. 製造業

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べ 10.3 で、前回の△8.7 から改善した。「前年同期比」も 27.8 と前回の 26.0 から 1.8 ポイント改善した。好転企業が多くプラス水準を維持している。「3ヶ月後」の予想は 3.2 で、前回の 17.3 から 14.1 ポイント悪化した。

設備投資DIは、「3ヶ月前」に比べて 18.2 で前回の 13.4 より改善し、「前年同期比」も前回の 18.9 から 26.2 へ改善した。受注量増加や人手不足などへの対応で、設備投資をする企業は多い。「3ヶ月後」の予想DIは 6.4 で、前回の 18.2 からは悪化した。

収益性DIは、「3ヶ月前比」で 4.0 と前回の△7.1 から 11.1 ポイント改善し、「前年同期比」は前回の 5.5 から 1.6 へ 3.9 ポイント悪化した。「3ヶ月後」の予想は△4.0 で、前回の 2.3 から悪化した。

業種別(主要 5 業種)の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「精密機械」が 30.8(前回 25.0)、「輸送用機械」は 14.3(同 0.0)、「金属製品」が 0.0(同△11.7)、「一般機械」は 3.0(同 0.0)、「電気機械」が 15.4(同△32.0)といずれも改善した。

「前年同期比」では、「精密機械」は 61.5(同 41.7)、「一般機械」は 26.4(同 12.1)、「電気機械」が 30.8(同 12.0)と改善し、「輸送用機械」が 21.5(同 71.4)、「金属製品」が 12.5(同 58.8)と悪化した。

「3ヶ月後」の予想DIは、「金属製品」は 6.2(同 0.0)と改善したが、「精密機械」は 7.7(同 25.0)、「輸送用機械」が 7.1(同 14.3)、「電気機械」は 0.0(同 32.0)、「一般機械」が 2.9(前回 6.1)と悪化した。

米国と中国の通商摩擦の影響で中国向け製品の受注が減少したり、米国のイラン核合意離脱で石油製品や材料の値上がりを懸念する声が出るなど、諏訪地方の企業にも先行き慎重な見方が始まっている。リーマン・ショックから 10 年になり、過去のサイクルから、そろそろ景気が後退するのではという声もあった。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	126	19.8	70.6	9.5	10.3	126	41.3	45.2	13.5	27.8	126	12.7	77.8	9.5	3.2	
規模	1~29人	70	14.3	77.1	8.6	5.7	70	25.7	61.4	12.9	12.8	70	12.9	75.7	11.4	1.5
	30~99人	41	26.8	58.5	14.6	12.2	41	61.0	24.4	14.6	46.4	41	9.8	80.5	9.8	0.0
	100人~	15	26.7	73.3	0.0	26.7	15	60.0	26.7	13.3	46.7	15	20.0	80.0	0.0	20.0
分類	金属製品製造業	16	18.8	62.5	18.8	0.0	16	37.5	37.5	25.0	12.5	16	12.5	81.3	6.3	6.2
	一般機械器具製造業	34	20.6	61.8	17.6	3.0	34	38.2	50.0	11.8	26.4	34	14.7	73.5	11.8	2.9
	電気機械器具製造業	26	23.1	69.2	7.7	15.4	26	46.2	38.5	15.4	30.8	26	15.4	69.2	15.4	0.0
	輸送用機械器具製造業	14	14.3	85.7	0.0	14.3	14	42.9	35.7	21.4	21.5	14	7.1	92.9	0.0	7.1
	精密機械器具製造業	13	30.8	69.2	0.0	30.8	13	61.5	38.5	0.0	61.5	13	7.7	92.3	0.0	7.7

① 諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

● 金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて0.0で、前回調査時の△11.7から改善した。「前年同期比」は12.5(前回58.8)と悪化した。「3ヶ月後」の予想は6.2で前回の0.0から改善した。取引先の動向が堅調で、自動車関連や産業機械関連は安定している。売上がリーマン・ショック前のピークを越えた企業もある。半導体関連はスマホ向けがやや減少傾向だが、総体的には増加傾向が続いている。

● 一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて3.0で、前回の0.0より改善した。「前年同期比」も26.4で、前回の12.1より改善したが、「3ヶ月後」の予想は2.9で、前回の6.1より悪化した。省力化、機械化関連は、多くの業種で人手不足による設備投資意欲が旺盛で、高水準の生産が続いている。特に、海外で対応できない高度技術を持つ企業は、好調だった前年を上回る受注を確保している。自動車部品関連や工作機械関連、農機関連も増加傾向だが、汎用部品の不足が解消されず、納期遅れが慢性化している企業も見られる。

● 電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは「3ヶ月前比」で15.4と前回の△32.0から改善し、「前年同期比」は30.8で前回の12.0から改善した。「3ヶ月後」の予想は0.0で前回の32.0から悪化した。プリント基板は、自動車や携帯電話、監視カメラなどに使用されるセンサーの需要で高水準の生産が続く。仮想通貨関連のコンピュータの基板は24時間稼働するため、発熱に強い基板への入れ替え需要が見込まれる。中国向け光通信基地局用基板も増加傾向となっている。

● 輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて14.3で、前回の0.0から改善した。しかし、「前年同期比」は21.5で、前回の71.4から悪化した。「3ヶ月後」の予想も7.1で、前回の14.3から悪化した。自動車関連部品は、安全装置やブレーキ、ドライブレコーダー、エアコン関連などが好調に推移している。中国向け電気自動車関連部品の受注も多い。ただ、受注見通しは明るいものの、ガソリン価格の上昇に伴う材料費や運送費の値上がりで、収益は楽観できないとする企業がある。船外機は高水準の生産が続いている。

● 精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて30.8で、前回の25.0から改善した。「前年同期比」は61.5(前回41.7)と改善した。「3ヶ月後」の予想は7.7(前回25.0)と悪化予想が多い。自動車関連光学部品の需要が多く、当面続く見込みだが、大幅なコストダウン要請もある。バーコード読み取りレンズ、娯楽用特殊レンズも増加基調で、ミラーレス交換レンズも回復傾向となっている。

② 規模別業況

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人」規模は前回の△10.3から5.7へ改善し、「30～99人」規

模も前回の0.0から12.2へ改善、「100人以上」規模は前回の△23.5から26.7と改善した。「前年同期比」は「1～29人」規模が12.8で前回の20.6から悪化し、「30～99人」規模は46.4で前回の35.7から改善し、「100人以上」規模は46.7で、前回の23.6から改善した。一方、「3ヶ月後」の予想は、「1～29人」規模が1.5で前回の8.8から悪化し、「30～99人」規模も0.0で前回の23.8から悪化し、「100人以上」規模は20.0で前回の35.3より悪化した。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べて受注状況DIは、「増加」企業29.4%、「減少」企業15.1%で14.3と、前回調査時の△2.4から改善した。「前年同期比」は25.4で前回の26.8からやや悪化した。一方、「3ヶ月後」の予想は前回の14.2から△1.6へ悪化した。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人企業」は10.0で、前回の△4.4から改善した。「30～99人企業」は19.5で、前回の2.4から改善し、「100人以上企業」は20.0で前回の△5.9から改善している。「前年同期比」では「1～29人企業」が10.0で前回の20.6から悪化し、「30～99人企業」は46.4で前回の35.8から改善し、「100人以上企業」も40.0で前回の29.5から改善した。「3ヶ月後」の予想は「1～29人企業」が△7.1で前回の1.5から悪化し、「30～99人企業」も前回の23.8から0.0と悪化し、「100人以上企業」は20.0で前回の41.2から悪化予想が多くなっている。

業種別(主要5業種)の「3ヶ月前比」は、「金属製品」が5.9から18.7、「輸送用機械」は0.0から21.4、「電気機械」は△20.0から23.1へ改善したが、「精密機械」は前回の33.3から15.4、「一般機械」は6.1から0.0へ悪化した。「前年同期比」では、「一般機械」が9.1から23.5、「電気機械」は20.0から27.0へ改善したが、「輸送用機械」が64.3から35.7、「精密機械」は41.7から38.5、「金属製品」が52.9から25.0へ悪化した。「3ヶ月後」の予想は、「金属製品」は12.5で前回の0.0から改善したが、「一般機械」は3.0から△11.8、「電気機械」は32.0から3.9、「精密機械」は16.7から△7.7、「輸送用機械」は14.3から7.1へ悪化した。

業種別・規模別受注状況表

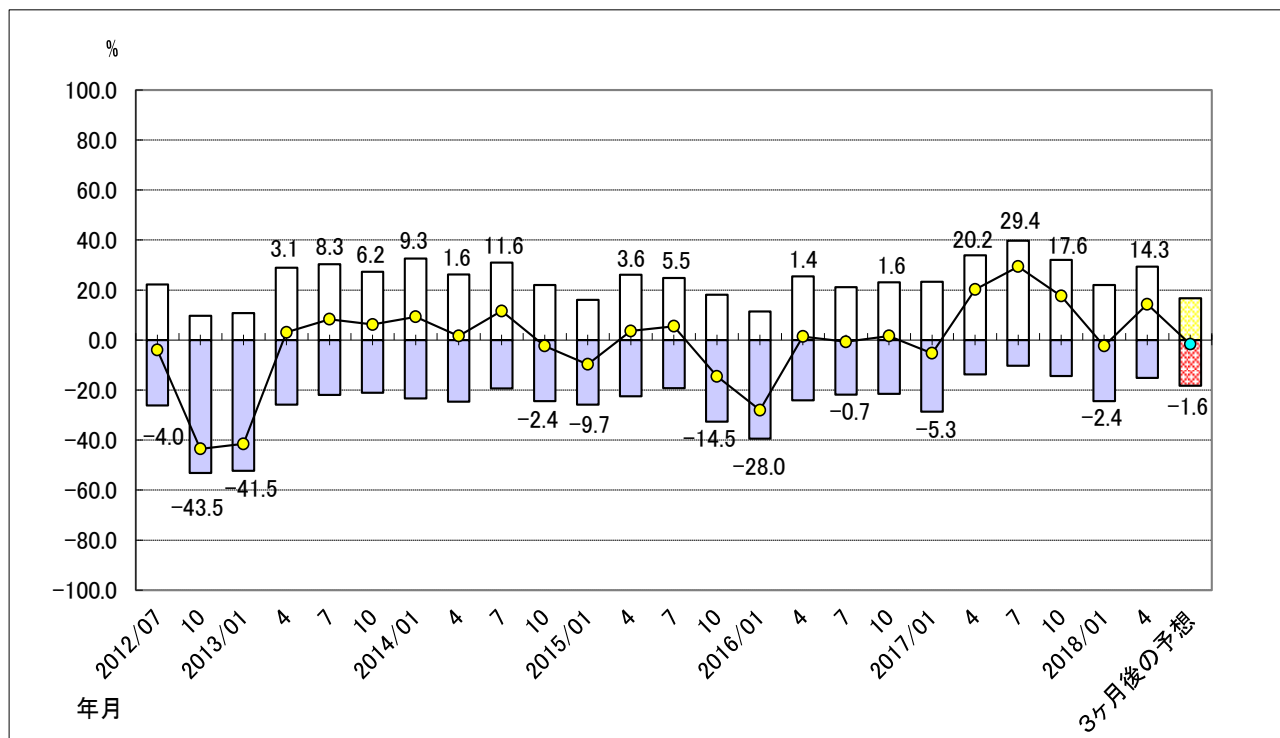
表-3

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	126	29.4	55.6	15.1	14.3	126	42.1	41.3	16.7	25.4	126	16.7	65.1	18.3	-1.6	
規模	1～29人	70	27.1	55.7	17.1	10.0	70	28.6	52.9	18.6	10.0	70	14.3	64.3	21.4	-7.1
	30～99人	41	34.1	51.2	14.6	19.5	41	61.0	24.4	14.6	46.4	41	19.5	61.0	19.5	0.0
	100人～	15	26.7	66.7	6.7	20.0	15	53.3	33.3	13.3	40.0	15	20.0	80.0	0.0	20.0
中分類	金属製品製造業	16	37.5	43.8	18.8	18.7	16	50.0	25.0	25.0	25.0	16	18.8	75.0	6.3	12.5
	一般機械器具製造業	34	23.5	52.9	23.5	0.0	34	35.3	52.9	11.8	23.5	34	14.7	58.8	26.5	-11.8
	電気機械器具製造業	26	34.6	53.8	11.5	23.1	26	46.2	34.6	19.2	27.0	26	23.1	57.7	19.2	3.9
	輸送用機械器具製造業	14	21.4	78.6	0.0	21.4	14	50.0	35.7	14.3	35.7	14	7.1	92.9	0.0	7.1
	精密機械器具製造業	13	30.8	53.8	15.4	15.4	13	46.2	46.2	7.7	38.5	13	7.7	76.9	15.4	-7.7

製造業の受注状況DIの推移

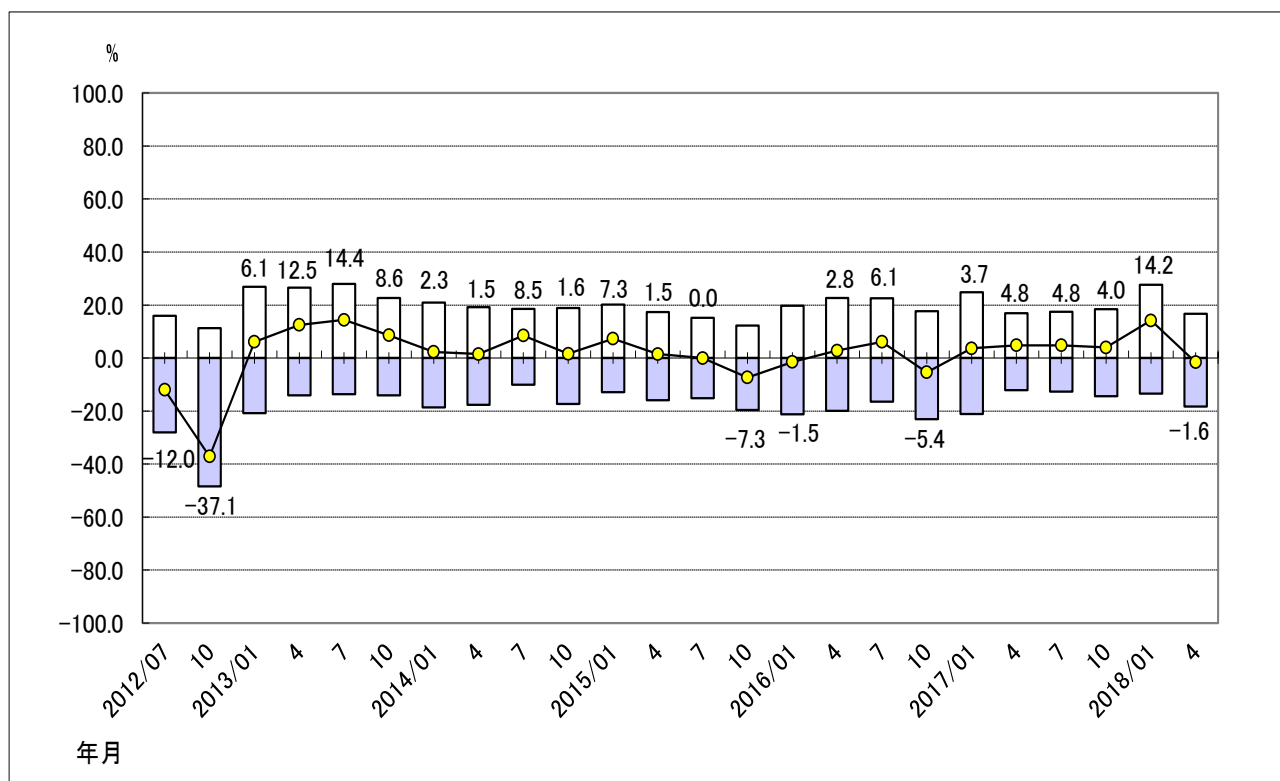
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



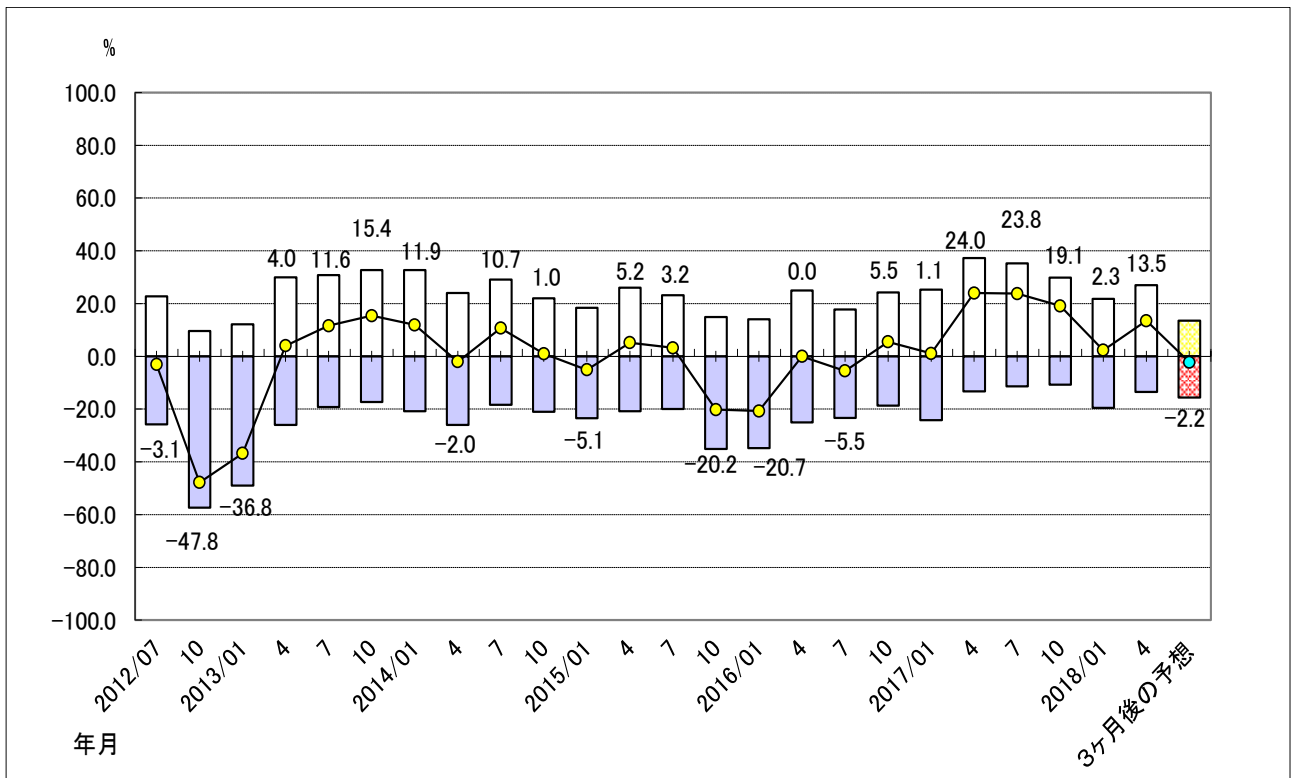
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



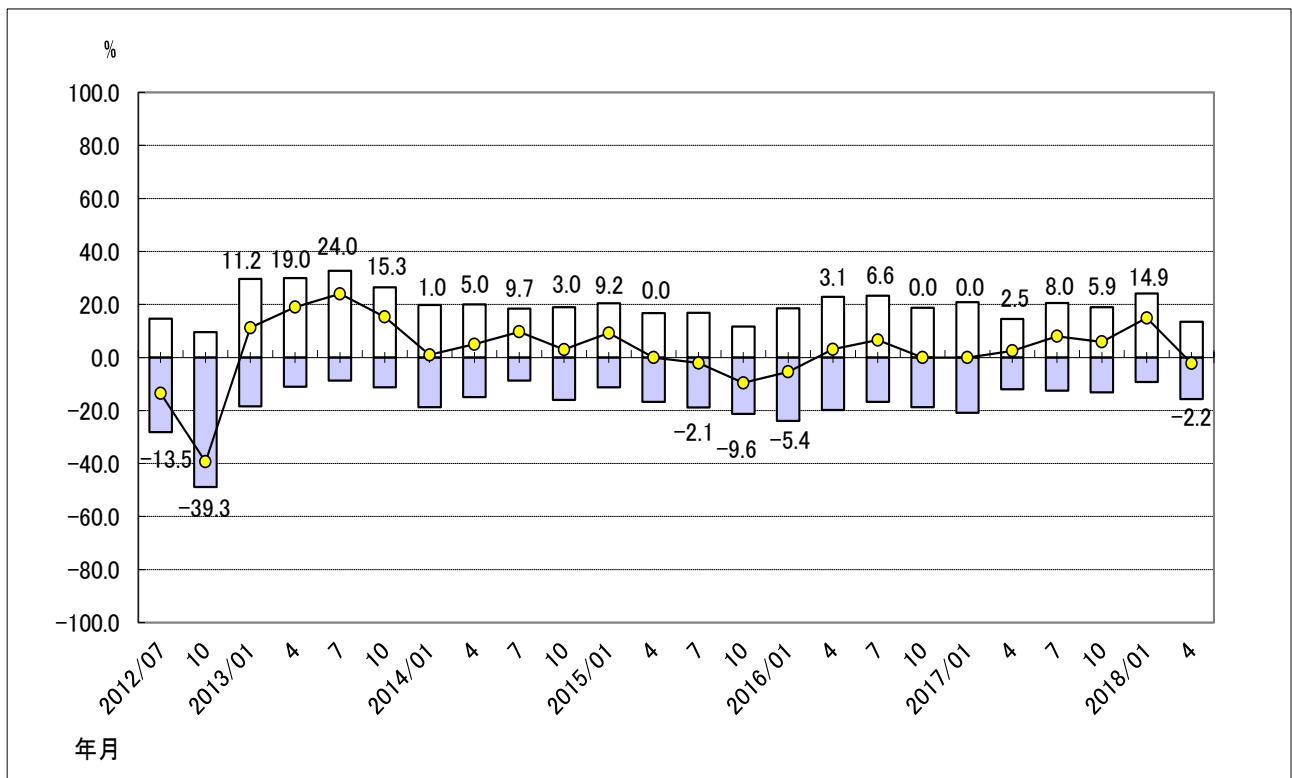
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



2. 商業・観光サービス業

① 商業

「前年同期」と比較すると、業況判断DIは 3.9(前回△3.7)、売上DIは 15.4(同 0.0)、来店客数DIは10.0(同△25.9)と改善している。企業側は商品の値上げで売上は増加する面があるが、消費マインドは低価格商品の動きの方が活発で、盛り上がりには欠けている。高騰していた野菜の価格は落ち着いた。

- 食料品 春物野菜価格は下落傾向で、魚介類は不漁で上昇傾向となっている。
- 大型小売店 味付けがしてあり、手間がかからない食品が主婦層に人気。
- 自動車 諏訪地方の4月の車庫証明件数(軽自動車除く)が888件で、前年同月比では9件増加(1.0%)した。タレントの不祥事でCMが止まり、マイナスの影響を懸念する声がある。
- 書店 本屋大賞の作品は伸びず、最近では年配者向け脳トレ用のパズル雑誌が売れている。GW前には行楽用の地図やガイドブックの売れ行きが伸びた。
- コンビニ 高校野球が始まると、球場周辺の店舗では観客数が売上額に影響する。
- 生花店 結婚式の減少や葬儀の小規模化で減少傾向だが、歓送迎会用や入社式用は、前年より数量、単価とも上昇した。

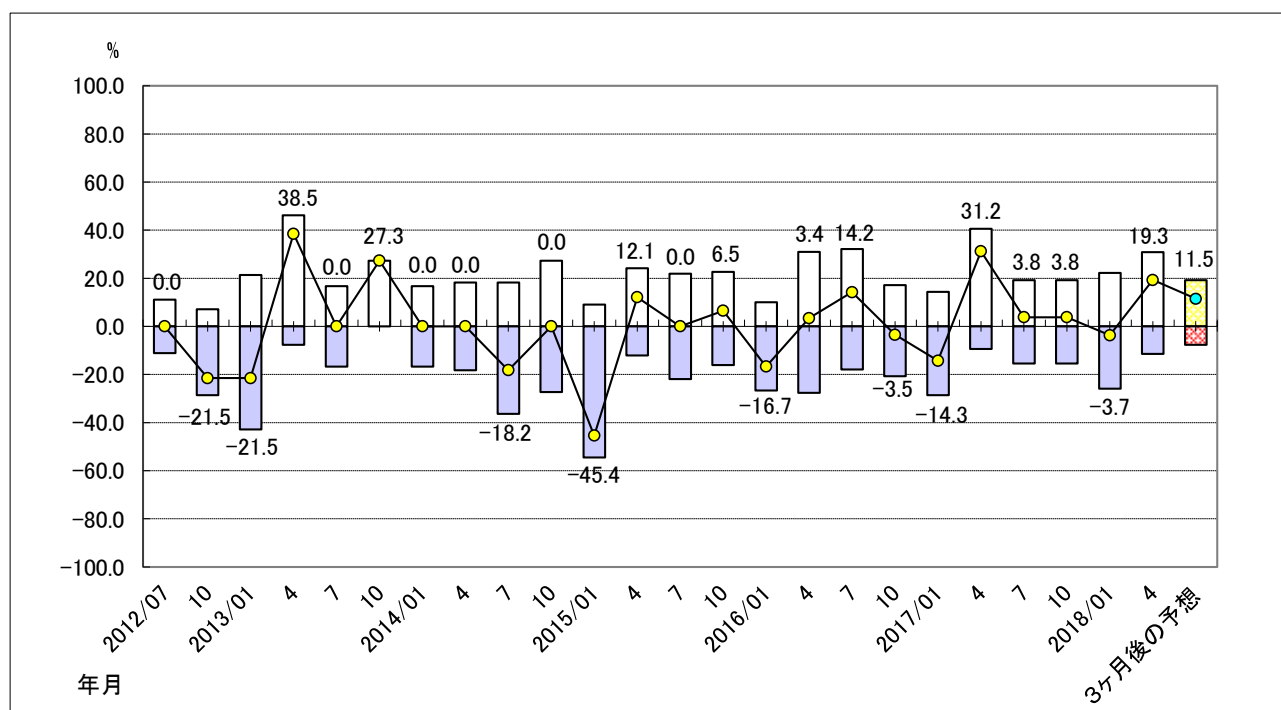
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	26	30.8	57.7	11.5	19.3	26	23.1	57.7	19.2	3.9	26	19.2	73.1	7.7	11.5
客単価	26	30.8	69.2	0.0	30.8	26	30.8	61.5	7.7	23.1	26	26.9	73.1	0.0	26.9
来店客数	26	26.9	57.7	15.4	11.5	26	19.2	61.5	19.2	0.0	26	23.1	65.4	11.5	11.6

●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



② 観光・サービス業

4月の諏訪地方は、晴れた日が多く気温が高かった。ゴールデンウィーク前半も天候に恵まれた。桜や山野草の開花が例年より早く、観光地への入り込みも早まった。「ラリーチャレンジ in 八ヶ岳茅野」は新たな観光資源として期待されている。ただ、繁忙期を前に、パートやアルバイトを含めた労働力は、勤務時間や休日など条件面や若手の労働への価値観の変化でミスマッチがあり、確保の困難さが見られる。

- 上諏訪温泉 宿泊人数は、前年同月比で減少した施設が多い。小規模の団体は上回ったが、前年にあった企業研修がなかったことなどで30人以上の団体が大幅に減少した。桜の開花が早かったことで、月後半のキャンセルもあった。
- 下諏訪温泉 個人予約は堅調で、海外サイトを利用した欧米からの予約もある。
- 蓼科・白樺湖 天候が良かったことで、月初は春スキーでにぎわい、屋外施設は予定より早く開場した。施設のリニューアルや企業単位で行っていたインバウンド対応を地域で取り組む動きが見られる。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた4月の参拝者数は約6万人で、前年同月比約1万4千人増加(29.7%)した。

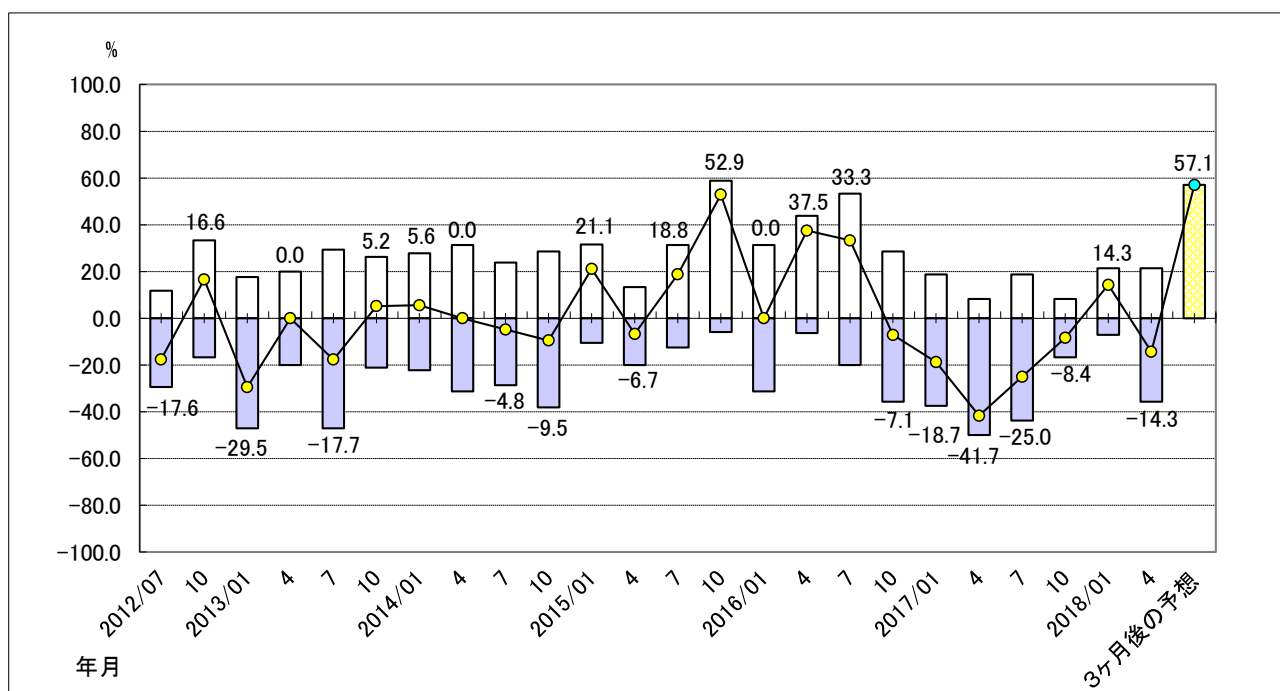
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	14	64.3	14.3	21.4	42.9	14	21.4	42.9	35.7	-14.3	14	57.1	42.9	0.0	57.1
客単価	14	57.1	35.7	7.1	50.0	14	28.6	64.3	7.1	21.5	14	50.0	50.0	0.0	50.0
宿泊客数	14	57.1	21.4	21.4	35.7	14	28.6	28.6	42.9	-14.3	14	50.0	50.0	0.0	50.0

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



3.建設業

「3ヶ月前」と比べて外注発注量DIは△12.5で、前回の6.3から悪化した。資金繰りDIは前回の△6.3から12.5へ改善し、収益性DIも0.0で前回の△12.5から改善した。「前年同期比」では、業況判断DIは6.2で前回と同様に推移し、売上DIも12.5で同様だった。受注状況DIも18.7から18.8と横ばい状態で推移している。一方、「3ヶ月後」の予想DIは、受注状況が18.8(前回12.5)で改善したが、外注発注量は12.5(前回25.0)と悪化している。公共工事の発注は、上半期の契約目標もあり、6月ごろから本格化すると見込まれている。

●建築工事

諏訪地方の平成30年3月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市9戸、諏訪市102戸、茅野市18戸、諏訪郡23戸の合計152戸だった。長野県全体の3月の新設住宅着工戸数は928戸で、前年同月比23.2%増加した。持家は3ヶ月ぶり、貸家は2ヶ月ぶり、分譲は5ヶ月ぶりに増加した。

●公共工事

例年、年度当初の国県関係の公共工事は発注量が少ない。市町村からの受注工事は、建築工事2件20百万円、土木27件429百万円、その他工事17件60百万円だった。

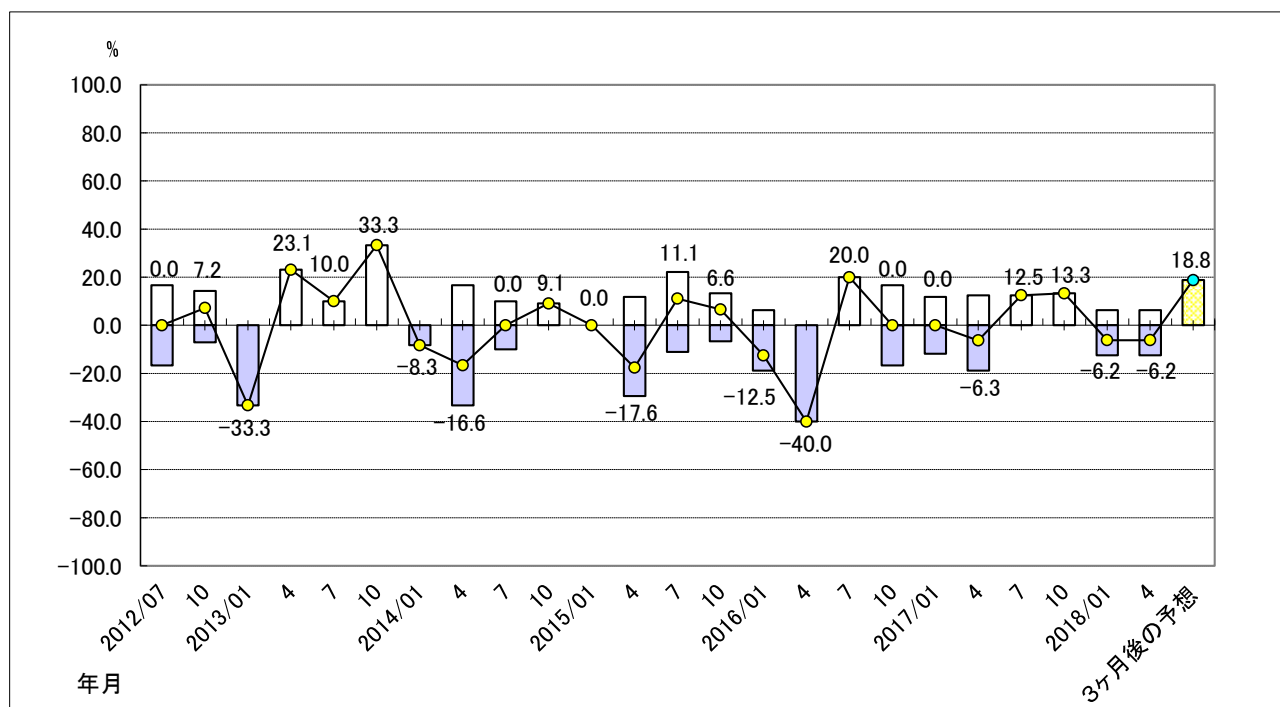
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	16	6.3	81.3	12.5	-6.2	16	12.5	81.3	6.3	6.2	16	18.8	81.3	0.0	18.8
受注状況	16	25.0	56.3	18.8	6.2	16	31.3	56.3	12.5	18.8	16	31.3	56.3	12.5	18.8
外注発注量	16	12.5	62.5	25.0	-12.5	16	12.5	68.8	18.8	-6.3	16	18.8	75.0	6.3	12.5

●建設業全社:「3ヶ月前」と比べて業況判断DIの推移

グラフ-10



4.収益性状況

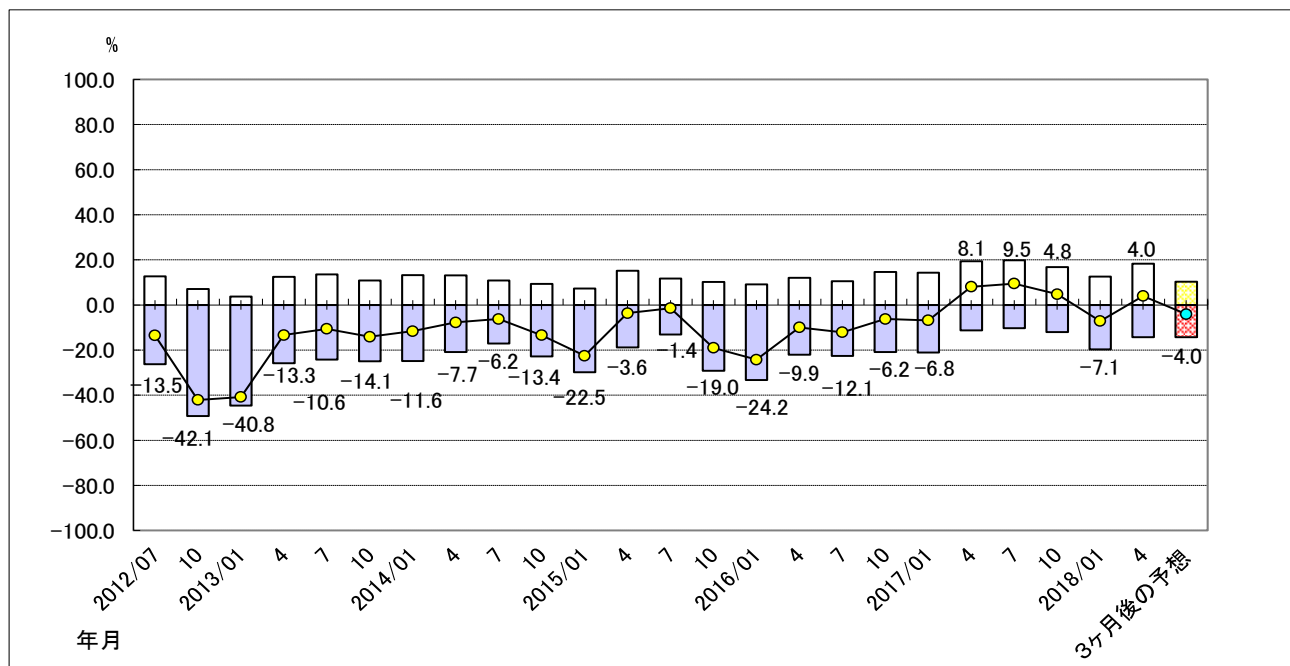
回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 20.9%、「悪化」企業 12.6%で、同DIは 8.3と前回調査時の△9.3から改善した。「前年同期比」では 2.8 で、前回とほぼ横ばいとなった。

「3ヶ月前」と比べて製造業は 4.0 で前回の△7.1より 11.1ポイント改善し、非製造業は 17.9で前回の△14.0より 31.9ポイント改善している。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が△4.0で前回の 2.3より悪化したが、非製造業は 23.2で前回の 10.6より改善している。回答全社では 4.4 で、前回の 4.9よりやや悪化した。

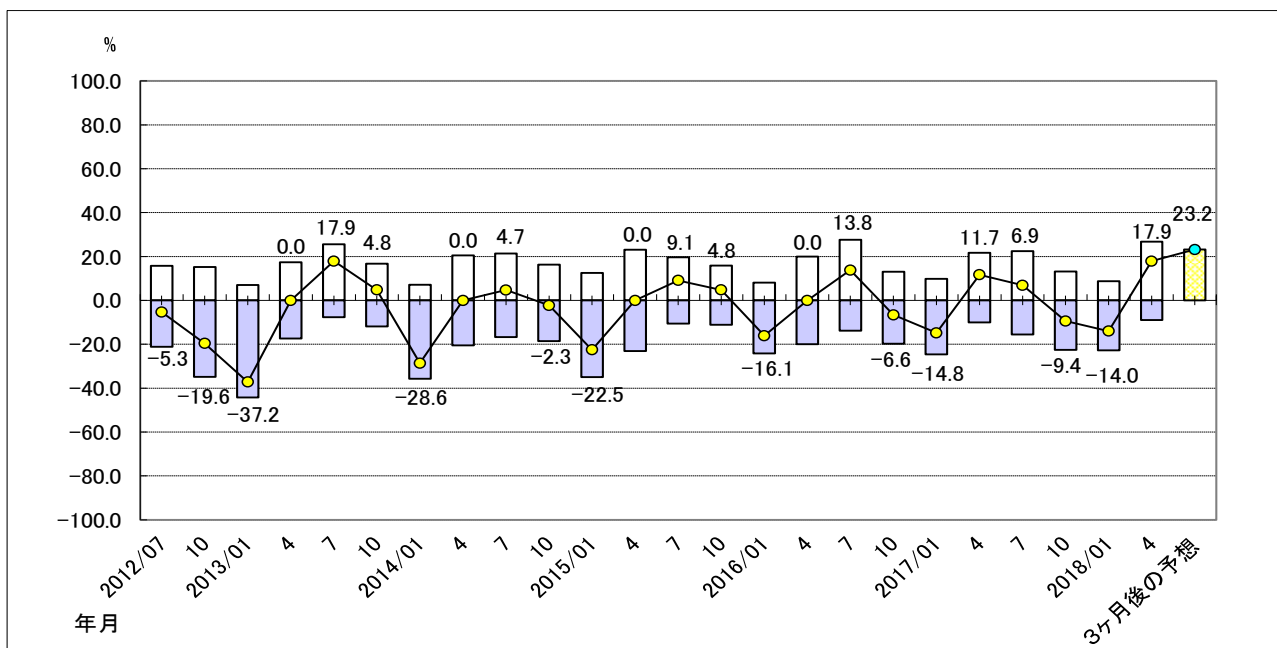
●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は労働力確保と売上減少、人件費②商業は競争激化、売上減少、労働力確保③建設業は労働力確保④観光・サービス業は労働力確保、競争激化となっている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	46	31	8	3	4
単価引下げ	24	18	1	2	3
競争激化	38	18	12	3	5
資金繰り	30	23	2	3	2
人件費	44	31	6	3	4
労働力確保	89	63	8	10	8

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【3月】	ハローワーク諏訪	1.68倍	0.08ポイント	
手形交換高【4月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	4,595枚	740枚	
	金額	7,127百万円	1,817百万円	
	うち不渡り 発生状況	枚数	0枚	0枚
	金額	0千円	0千円	
車庫証明取扱件数【4月】(諏訪地方合計)		888件	1.0%	
新設住宅着工戸数【平成29年4月～30年3月】(諏訪管内)		1,099戸	△1.3%	

7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値。

- ① 調査期間 平成30年4月末。

- ② 調査内容 「平成30年4月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較および「3ヶ月後」の予想。
- ③ 調査方法 アンケート調査およびヒアリング調査(約130社)。
- ④ 対象地域 諏訪地域全域。
- ⑤ 業種 製造業、商業、建設業、観光・サービス業。
- ⑥ 回答企業数 182企業。
- ⑦ 回答率 72.8%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	170	40	20	20	250
回答数	126	26	16	14	182